

輝

心のケアを大切に

北中学校スクールカウンセラー

臨床心理士 水野 有紀子さん

皆

さんの中にも、人間関係などで悩んだことがある人がいると思います。臨床心理士とは、そういった心の問題を取り扱う心の専門家。教育や医療、福祉、産業、司法など幅広い分野で活躍しています。今回は、4月から北中学校のスクールカウンセラーとして、生徒や保護者の心のケアをしている臨床心理士の水野有紀子さんを紹介します。

会社に勤務していたころから、知り合いに聞き上手だねと言われることがあったという水野さん。「自分自身も人間関係で悩んだことがあります。友達の心配事などの相談を受けているうちに、自分は相談に乗ったり、一緒に悩んだりすることが好きだということに気がきました。その後、最初は一般向けに売っている心理



▶▶▶プロフィール

みずの・ゆきこ 昭和44年生まれの33歳。三重大学人文学部社会科学科を卒業し、出版社に勤務。その後会社を退職。愛知学院大学大学院文学研究科に入学し、心理学を専攻。今年から北中学校のスクールカウンセラーに。

学の本を読むようになり、民間のカウンセリング講座にも通って心理学の勉強をするようになり、「心理学に興味を持ち、臨床心理士になっただきかけを話します。」

水野さんは三重大学を卒業後、出版社で5年半の間勤務していました。心理学を本格的に学ぼうと思ったのは入社5年目のころのことで、勤めていた会社を退職。愛知学院大学大学院文学研究科に入学し、心理学を専攻しました。また臨床心理士の資格を得るためには、卒業後1年間の実務経験が必要だったため、大病院や精神科クリニックで実務経験を積みました。そして昨年、臨床心理士の試験を受験。合格し、愛知県のスクールカウンセラーに応募しました。

現在、愛知県教育委員会から非常勤職員として北中学校へ派遣され、予約制で、1回45分、1対1の面談という形で生徒や保護者のカウンセリングを行っている水野さん。「カウンセリングでは、相談者がどういったところでつまづいているのか、どういったところに心の葛藤があるのかなどを理解します。また、漠然とした不安、怒り、願望などの感情を明確にし、その人自身が自分で考えて選択できるように手助けします。そして自分自身のことをよりよく知り、自分を受け入れ、変えていくことを援助するのです。ひとりで悩まずに、辛いことや苦しいこと、悩みや不安などを人に話すことで、気持ちが楽になったり、不安が改善したりするきっかけになることもあります」と話します。

「まだ経験年数が浅いので、もっといろいろな経験を積み、自分の得意な分野を見つけていきたいです。そしてさまざまな臨床の場での経験をカウンセリングに生かしていきたいですね」と水野さんは瞳を輝かせます。



▶▶▶プロフィール

にわ・ひでお 大正4年生まれの87歳。日課は書道の練習をすること。現在、古典書道の関戸や曹全を勉強中。料理も得意。

みつけたみよしの
はつらつさん

大切なのは気持ちの持ち方

丹羽 秀雄さん(三好丘陵)

「書道が毎日の日課です」と笑顔で話す丹羽さん。3年ほど前に書道の練習を始め、最初の1年間は、書道教室に通っていましたが、今は独学で勉強中。丹羽さんが現在取り組んでいるのは、古典書道の中でも、かなの「関戸」と漢字の「曹全」。「独学で勉強しているのだからなかなか上達しませんが、毎日楽しく練習しています。かなの変化が面白いんですよ」と生き生きと話します。食事は朝昼晩とも自分で料理をして用意するという丹羽さん。「料理を毎日おいしく食べられて、昼にはビールを飲める。健康でいられることがとても幸せなことですよ。日々感謝の気持ちを忘れずに生活しています」とにっこり。

「気持ちをいつも若く保つことが健康の秘けつ。できるだけ若い人たちと交流を持つことで自分の気持ちも若く保つようになっています」と元氣よく話す丹羽さん。「能面作りにも興味があつてぜひ挑戦したいですね」と、とても意欲的です。

これからも毎日楽しく、元氣に過ごしていきたいですね。

みよしっ子

三好中学校

美術部

三好中学校の美術部を紹介します。顧問の飯田みか先生と部長の石原由香さんに話を伺いました。



部員それぞれが興味を持った絵や工作、洋裁などに自主的に取り組む形で創作活動を行っている美術部。普段の活動では、文化祭に出展する絵のスケッチ、工作などをしています。また文化祭と体育祭では、全員で協力して作品を作ります。

昨年の体育祭ではオブジェを、文化祭ではスローガンの看板を作りました。協力して作業を行うことで、普段はそれぞれで活動している部が一つにまとまることができました。先輩、後輩とも分け隔てなく気軽に話し掛けられる、学年間の交流が多い部活なんですよ。」と石原さんは話します。

飯田先生は、部員の感性を大切にしながら指導を行い、必要に応じて部員の相談に乗っています。「仲が良い中にも先輩らしい行動、後輩らしい行動というものを意識させたいですね。また今後の活動では、新しく部員たちの力で作り始めた美術部通信に力を入れていきたいです」と今後の指導に対する思いを話していました。

